



ほけんだより



第76号

平成19年3月

子育て施設課

電話 0823-25-3144

【 3月3日は耳の日です 】

Q みみあか 耳垢がよくたまっています。耳掃除は毎日してあげた方がいいのでしょうか？

A 耳（外耳道）には、耳垢を自然に耳の外に出そうとする機能があります。外に出てきた耳垢を取ってあげるのは構いませんが、耳の中まで耳かきを使って取ろうとすると外耳道に傷がつき外耳道炎（耳のかゆみや痛み）の原因になります。また、耳垢腺を刺激するので耳垢も増えます。たくさん見えて気になるようなら専門医に診てもらってください。



Q 中耳炎はどうしてなるのでしょうか？

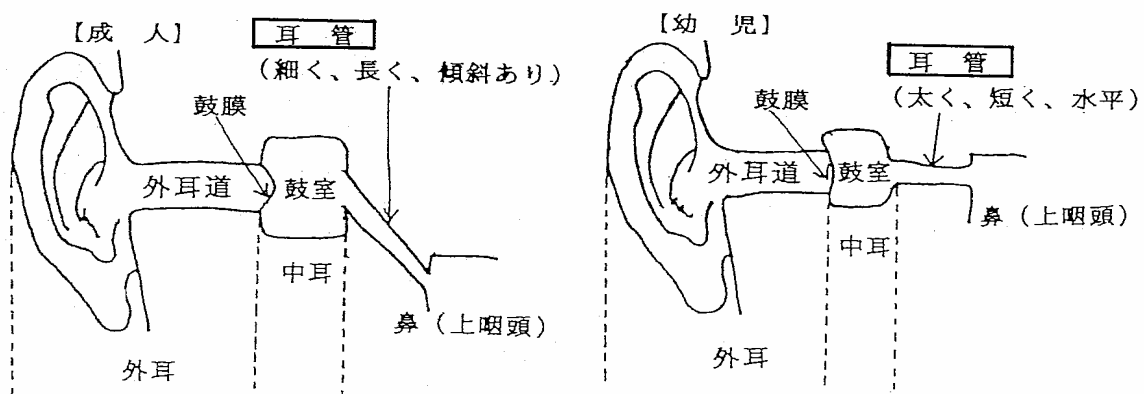
A 鼻汁が出たり、扁桃腺が腫れたりすると、鼻の奥（上咽頭）から耳管を通してウイルスや細菌が中耳に入ることによって中耳炎になります。

Q 急性中耳炎の症状は？

A 発熱、耳痛、耳だれ（鼓膜が破れて中耳から外耳道に液が出る）などがあります。言葉で伝えられない乳幼児は、機嫌が悪い、自分で耳によく手をやる、人が耳をさわると嫌がる、カゼの症状は良くなったのに熱が下がらないなどの症状がある場合は、中耳炎を疑ってみましょう。

Q どうして乳幼児は中耳炎にかかりやすいのですか？

A 乳幼児の耳管は大人に比べて、太く、短く、水平なので、カゼなどをひくと、そのバイ菌が容易に鼻の奥から中耳に入ります。



Q 中耳炎はお風呂に入った時、耳にお湯が入ったりして発症しますか？

A 耳たぶのある方（外耳道）からお湯が入って中耳炎になることはありません。耳に入ったお湯は体温の熱により自然に乾燥し、中耳炎の原因にはなりません。

Q しん出性中耳炎（小児慢性中耳炎）という病気は？

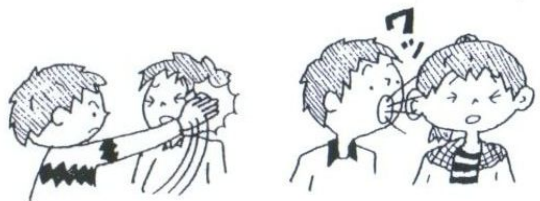
A しん出性中耳炎は、発熱、痛みなどの症状がないため発見が遅れます。急性中耳炎で中途半端な状態で治療を止めると、しん出性中耳炎になることがあります。しん出性中耳炎のほとんどは、小学校3～4年になれば自然に治ります。しかし、しん出性中耳炎による難聴をそのままにしておくと、情緒や言語の発達に影響します。治療は完全に治るまで続けましょう。

Q 急性中耳炎を繰り返していますがどうしてでしょうか？

A 最近、反復性中耳炎（一年の間に何度も急性中耳炎にかかる）が社会的にも大きな問題になっています。原因としては、集団保育の低年齢化・バイ菌に対する免疫力の未熟な乳幼児（2歳以下）の感染機会が増えたこと、母乳栄養期間が短くなったこと、薬剤耐性菌（抗生物質の効きにくいバイ菌）が増えてきたこと、アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などいくつかあげられています。薬を飲むだけでは、なかなかよくなる中耳炎です。生活環境の改善を含め根気よく治療することが大切です。

Q 耳を守るためにはどうすればよいですか？

- A**
- * 中耳炎の予防は、カゼをひかない。
 - * 鼻をすすらない。
 - * 鼻をかむときは片方ずつ静かに。
 - * 耳をたたかない。
 - * 耳の近くで大きな声や音を出さない。
 - * 乳児を寝かせたままミルクを飲ませるときは注意しましょう。
(ミルクが耳管を通り中耳に入って中耳炎をおこすことがあります)



Q 聞こえの悪い人はいませんか？

- A**
- ♪ 面と向かって話しているとスムーズに通じるが、後ろから声をかけると返事をしない。
 - ♪ 普通に話をしているのに、何度も聞き返す。
 - ♪ わかったふりをしたり、聞き違えが目立つ。
 - ♪ 何か言われてもボンヤリしていて、理解できない。
 - ♪ テレビの音が大きくなったり、近づいて見ている。



こんな症状が見られたら、一度耳鼻科の先生に相談してみましょう。